

# 事例研究で投稿する方たちへ

中京大学経営学部

銭佑錫

「現象そのものを大切にする。自分の目で確かめる。生物学の王道だからです。」

(大隅義則)

# 目次

- なんのための事例研究なのかを明確に意識
- 事例の意味付け
- 手続きの厳密性をアピールする

# 事例研究の意味は？

- 苦労して会社にコンタクトを取って、会社に出かけてインタビューをして、それを用いて研究論文にする意味は？
- 自分がやっている仕事の意味を分かる必要
- ただ、ほかのみんながやるからやるでは、本質を失いやすい

- 「科学とは、なにが本当のことなのかを明らかにすること」(中谷)
- 観察⇒仮設(理論)⇒実験⇒検証(再現可能性)
- 明らかにすべき「現象」の知識が大前提
  - 太陽は東から昇って西に沈む
  - 雨が降る
  - 夏は暑い
  - 悲しいと涙が流れる
  - 手を放すと物が落ちる、などなど

# 経営学の場合

- 明らかにすべき対象（現象）への接近が非常に制限されている。  
（企業秘密だったりする）
  - 新聞、ビジネス系雑誌、論文、著書、有価証券報告書、アニュアル・レポート、ホームページ、社史などの2次データ  
  
（バイアス、すでに視点を、制限された内容）

何を明らかにすべきか？

すらを分らない場合が多い

実体が分らない



リサーチ・クエスチョン、そのものを見つけにくい！

# 経営学における事例研究

- ① 明らかにすべき対象探し  
(リサーチ・クエスチョン探し)
- ② リサーチ・クエスチョンへの答え探し

「前者だけでも、十分**価値**がある」  
これがないとリサーチ・クエスチョンが探せない



# ただし、

なんでも調べて述べればよいというわけではない

- 見てきたぞー
- とりあえず、、、

学会などでは、  
拍手喝采

投稿すると、リジェクト  
急に基準が厳しくなった？

# 意味のある事例

ブラック・スワン(井上)

通説では説明できない事例

⇒ 研究ノート

+ その事例に対する新たな説明(因果関係)

⇒ 研究論文!

# 投稿の時には、

- ブラック・スワンであることを強調する
- 説明が不十分なときは、「研究ノート」で投稿  
「一粒で二度おいしい」
- でも、ブラック・スワンに出会うのは「まれ」？
- 最初にとった白鳥がブラック・スワンである可能性は低い

# 投稿の時には、

- ホワイト・スワンであっても、白くない部分を探して強調
- 白さを強調する事例研究 ×  
○○先生の理論で説明できる！ ×
- 事例による検証は可能か？ ×

- 知識や経験がないと、全部ブラックに見えたり、一部の白くない部分が目に入らない
- 事例の意味を見出すためには、既存理論の知識となるべくたくさんの事例が必要  
(指導教授や先輩の活用)
- 2社以上の比較研究が有利  
シングルケースではなかなか通りにくい

# 手続きの厳密さ

- アピールすると良い
  - 面白さとのトレードオフ（例えば、録音）  
（経営学の特殊性）＝直接的な利害関係者
- ⇒ 手続きの厳密性は絶対的ではない。  
かといって、無視することもできない。

# 整理

- なんのための事例研究なのかを明確に意識  
研究ノートか、研究論文か、
- 事例の意味付け  
小さくても黒い部分を強調する
- 手続きの厳密性をアピールする